

足利・行道山～両崖山山行報告書

‘18年11月18日 (L)伊 藤

栃木県足利市駅（東武伊勢崎線）に集合です。皆さんあまり馴染みの無い駅だと思いますが、おや～駅は人で一杯、ワイン祭りがある様です。我々はタクシーで行道山浄因寺へと向かいます。このコースは「関東ふれあいの道」で関東の高野山といわれています。

石段の登りが待っていますが周りには石仏が並び、心が穏やかなになります。山門をくぐり本堂の前より、絶壁の谷間に精心亭が、紅葉の中見下ろせます。（写真）

その先、小高い岩場（四十九院）に寝釈迦の石仏が横たわっています。やがて赤城山、日光連山等360度のパノラマ眺望のある石尊山山頂でのんびりと昼食です。

さあ出発です。剣ヶ峰（大岩山）から大岩毘沙門天（最勝寺・日本三大毘沙門）へ向かいます。運慶作といわれる仁王門もあります。登山道は階段状の登り下りの雑木林をすぎると、足利城跡の両崖山に到着。御岳神社の脇に樹齢200～250年のタブの木の自生林は足利市・天然記念物です。石段を下り松林と露岩の尾根道が続きます。鏡岩展望台を過ぎ、織姫神社へと下るのですが、その間意外とアップダウンの連続で、紅葉の中、展望もあり、なかなか歩きがいのある、思い出に残るコースです。朱塗りの鮮やかな神殿の織姫神社に着きます。縁結びの鐘もありますが、意外と皆さん、すまして通り過ぎていきます。

（やせ我慢？）

やがて市内に入ります。渡良瀬橋をわたる頃、落日となり川辺が赤く染まります。誰かが森高千里の「渡良瀬橋」をムードに浸って歌いながら夕陽に輝く橋を渡っていきます。盛り上がっています。本日は紅葉の中、神社、石仏、アップダウンの岩場等変化に富み、いろいろな自然の組み合わせを堪能した楽しい一日でした。

東武鉄道・足利市駅で解散。特急りょうもう号で浅草方面に向かい、帰路に着いたのです。

